

碓氷郡白井町五料

同 郡安中町安中

北甘樂郡下仁田町下仁田

同 郡富岡町富岡

多野郡上野村新羽

勢多郡宮城村鼻毛石

佐波郡伊勢崎町

新田郡太田町太田

勢多郡東村花輪

桐生市安樂土

邑樂郡館林町館林

以上の各観測所は爆發降灰なし

## 十勝岳硫黃山噴烟狀況報告

旭川 測候所

一、日時及天氣 昭和三年六月二十二日前十時、濃霧あれども時々薄らぐ、此日午前六時、晴、吹上温泉場にて氣温十度五旭川より零度七低温なり。

一、積雪 硫黃山附近の積雪は昨冬より本年に涉りて例年より少量なりしが當二十二日には前十勝岳溪間、窪地には尙所々残雪ありたり、泥流跡には残雪なし

一、噴烟の壯況 噴烟は火口内一面非常に多量にして爲めに口底を瞰視すること能はざりしが丸山崖下に當りて「ゴォゴォ」と云ふ音響聞え昨年と同様なり。

新火口丘の北側は昨年より餘程缺潰せるものゝ如く思はる火口縁は最高部稍々直下迄迫れり。

一、噴氣孔溫度 左に昨年の方と併記す。

昭和三年六月二十二日午前十時三十分 濃霧

湯の澤 九五度一

右方崖 九四度三

昭和二年九月八日午前八時三十分 晴

湯の澤 九五度〇

右方崖 九四度二

昭和二年六月五日午前九時頃? 晴

湯の澤 九六度〇

一、昨年来噴烟の様様

吹上温泉場にての觀測によれば本年二月十二三日頃夜間火口の上空薄赤く見へたりと云ふ。

五月二十三日には丸山崖下方面に當り午後二時過ぎより數回に涉りて黒烟噴騰し甚しき時は「ゴ」と云ふ音響と同時に目測二三寸より六七寸位の岩石が手毬の如く空中に抛出さるゝを瞭かに目撃し、黒烟は丸山、十勝岳方面へ靡びきたりと云ふ。

湯の澤の北方には砂泥が帶狀をなして流れ、幅員中程にて三間弱、長約百間あり、沙泥の下層は尙一尺以上の所ありたり、末端近くに當りて七寸に一尺位の岩塊の周圍が圓形に堅雪を融かせしケ所あり、之れ爆發の際熱岩が落下せしものと思はる。

一、旭川五月二十三日以前の天候

二十一日午前六時高氣壓は蒙古地方にて七百五十八糎八丈島の東方海上にて七百六十四糎を示せしが一方低氣壓は間宮海峽にて七百四十八糎北東に進行し、又旭川にては七百五十七糎を示し次第に微行しつゝあり、天氣は西寄の風晴天なりしも午後より雷雨ありたり、二十二日午前六時高氣壓は日本海中部と八丈島の東方海上に在り何れも七百六十二糎を示し弱き低氣壓は北海道中部にて七百五十四糎旭川は早朝雷雨降雹の現象ありたり、二十三日午前六時高氣壓は本州中部にて七百六十四糎本道も其圈内に在り低氣壓は本道を横斷して千島の南方海上に去れり、爲めに天氣は漸次恢復に向ひ午後より晴天となる、降水量は本月一日より二十日迄、合計五十三糎を量せしが二十一日二糎二十日十五糎二を量せり。